

Satsumasendai City Public Relations

# 薩摩川内

広報

さつませんだい



January 2021  
vol.390



悠久の時を経て

- P2 新年のごあいさつ
- P3 令和2年 主な出来事
- P6～ 特集 映画「大綱引の恋」



01

市長および市議会議員選挙が執行

10月25日、市長および市議会議員選挙が執行されました。市長選挙には4人が立候補し、田中良二氏が初当選。また、市議会議員選挙には33人が立候補し、9人の初当選者を含む26人が当選しました。なお、11月6日、岩切秀雄市長が任期満了により退任され、多くの関係者に見送られながら市役所を後にしました。



令和2年 主な出来事

このコーナーでは、昨年1月から12月までにあった主な出来事を、抜粋して掲載します。



コロナ禍の克服と薩摩川内の未来創生に向けて



薩摩川内市長 田中良二

令和3年の新春を迎え、謹んで新年のお祝辞を申し上げます。

昨年同様、新型コロナウイルス感染症拡大による市民生活や社会経済活動への影響は大変甚大であり、私たちは国難のさなかにあります。新型コロナウイルスへの対応については、広く市民の声に真摯に耳を傾け、また、国・県の取組状況などを見極めつつ、適宜的確な対応を講じてまいります。

昨年11月には、防災に関わる専門家の意見を今後の防災対策に生かしていくため「薩摩川内市防災対策有識者会議」を設置しました。急激な集中豪雨や強い勢力に発達する台風などに的確に対応できる「災害に強いまちづくり」を目指し、具体的な検討を進めてまいります。

コロナ禍の大変厳しい状況にありますが、本市の中・長期的な展望に目を向けますと、今年度は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けた準備が政府の強い決意により進められており、本市においても、その準備状況を見極めつつ、既に受け入れを合意した男子バレーボールアルゼンチン代表チームの事前キャンプ実現に向けた具体的な調整を進めてまいります。また、全国市町村交流レガッタ大

会や鹿児島県茶業振興大会薩摩川内大会についても実施に向けた調整を行っています。

さらに、本県では令和4年度には第12回全国和牛能力共進会が、令和5年度には鹿児島国体と全国障害者スポーツ大会が開催され、令和6年度は市制施行20周年の節目の年を迎えます。

また、1月には本市の中核的な交流拠点となる「SSプラザせんだい」がオープンし、隣接するホテル・商業施設についても8月のオープンを目指して事業が進められており、さらに南九州西回り自動車道の阿久根川内道路、川内川の市街部改修や河口部の高潮対策、川内港の港湾整備などの国家的事業についても進行しています。

本市が有するこれらの発展のチャンスとポテンシャルを生かし、「コロナ禍の克服」と「薩摩川内の未来創生」に向け、積極的に取り組んでまいります。

最後に、市政全般にわたりまして、今年も市民の皆さまの格別のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。併せて、皆さまにとりまして幸多き一年となりますようご祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。

02

第2次薩摩川内市総合計画後期基本計画 第2期薩摩川内市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定



令和2年度を始期とする「第2次薩摩川内市総合計画後期基本計画」を策定しました。今回の総合計画においては、人口減少対策の一体的な推進を図るため、総合戦略を統合するとともに、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進するため、各施策とSDGsの関連付けを行いました。今後もさらに持続可能で魅力的なまちづくりを進めていきます。

03

甑大橋開通！ 開通式典・ウォーキング大会



8月29日、甑島島民の悲願であった甑大橋が開通し、上甑島・中甑島・下甑島が陸路で一つに結ばれました。当日は「甑大橋開通式典」が開催され、地元伝統芸能のオープニングセレモニーや関係者あいさつの後、親子三代渡り初めや車両渡り初めが行われ、橋の開通に花を添えました。開通前の8月23日には、プレイベントとしてウォーキング大会が開催され、島民500人が海風を浴びながら橋上を歩き、完成の喜びを分かち合いました。

また、8月18日に平良トンネルおよび甑大橋防災対策の一環として、消防局と各関係機関合同で防災訓練を実施。救助、消火活動はもとより、関係機関相互の情報伝達要領、災害現場付近の交通規制、誘導などそれぞれの活動を検証する訓練となりました。



09 甌島の地層から 海生爬虫類の歯を発見!

下甌島の中生代白亜紀後期(約8千万年前)の地層から、海生ワニ類(国内で2例目)とモササウルス類の歯(九州で2例目)の化石が発見されました。海生ワニ類の歯は、長さ2.5cm、最大幅1.1cmで推定全長は3~4m。「海の王者」とも呼ばれるモササウルス類の歯は、長さ約1.2cm、最大幅約0.8cm、推定全長は2mといわれています。化石は甌ミュージアム恐竜化石等準備室にて一般公開中です。



2月13日、薩摩川内市生活研究グループ連絡協議会が、令和元年度地産地消等優良活動表彰(食品産業部門)で九州農政局長賞を受賞。これは、地域農産物を用いた加工品作り、郷土食の伝承、学校給食の食材としての提供など、地産地消の取り組みが評価されたものです。また、4月1日、市役所農政課内に「薩摩川内市農作業サポート人材バンク」を設置しました。求人者(農業者)と求職者(市民など)のマッチングを推進し、本市農業の維持・活性化の一役を担うもので、農家経営の安定や作業効率向上を図ります。



13 入来神舞が 県の無形民俗文化財指定に

入来町の伝統行事「入来神舞」が県の無形民俗文化財に指定され、6月5日、入来神舞保存会の是枝政文会長へ指定証書の伝達が行われました。入来神舞は、大宮神社の例祭(11月23日と大晦日)に五穀豊穡を願い、50年以上絶えず奉納され続けているもので、剣を持ち勇壮に舞うなどの特色があり、我が国の芸能史の解明に寄与する可能性のある貴重な文化財であるとの評価を受けました。



08 映画「大綱引の恋」 鹿児島県先行公開

薩摩川内市をメインにロケ撮影が行われた、佐々部清監督、渾身のラブストーリー「大綱引の恋」が10月30日から鹿児島県先行公開されました。31日には、川内文化ホールで特別上映会があり、舞台あいさつで、主演の三浦貴大さんはじめ、比嘉愛未さん、中村優一さん、西田聖志郎さん、升毅さんら5人が登壇し、映画公開の喜びなどを語りました。映画は5月から全国公開される予定です。



10 79年の時を経て 日章旗郷里に還る

本市中村町出身で、太平洋戦争時、出征地の硫黄島で戦死した岡元友義さん(当時27歳)の日章旗が同町在住の遺族、岡元由美子さんに返還されました。これは、友義さんが熊本の部隊召集時に、同町飯母集落の方たちが贈ったとされるもので、硫黄島で日章旗を拾った元アメリカ兵の息子が、太平洋戦争史研究家、ダニエル・キング氏に返還を依頼しました。旗に記載されている人名や部隊名、地名などから出身地や戦没者を特定し、現地で採取された「硫黄島の砂」と共に返還されました。



12 地域が育む 「かごしまの教育」県民週間 最優秀賞・学校賞を受賞

県教育委員会主催の、地域が育む「かごしまの教育」県民週間で公募された標語とポスター原画において、本市の東郷学園義務教育学校1年の東湊土さんの標語が最優秀賞、亀山小学校のポスター原画が学校賞をそれぞれ受賞しました。これは、県内の児童生徒から県民週間の趣旨を分かりやすく表現した、明るく活力ある標語、ポスター原画を募集し、県民週間を全県的な活動として推進・幅広く普及させるための取り組みです。

4月16日、新型コロナウイルス感染症に対する緊急事態宣言の対象地域が全国に拡大され、本市内でも不要・不急の外出自粛や密集・密接を避け、手洗い・咳エチケットの励行を周知し、感染拡大防止策を一斉に取り組みました。3月から5月までの指定期間においては、子どもたちの健康・安全を第一に、市内小学校・中学校・義務教育学校の一斉臨時休業を行い、感染リスクに対処しました。7月には、臨時休業により各学校で実施できなかった学習の補充授業のため、夏季休業期間を活用した授業を実施しました。また、社会経済活動に著しい影響が及ぶ中、市内の中小企業、個人事業主を対象にさまざまな事業継続のための支援を行い、市内の消費喚起を促し景気回復を図るため、市独自のプレミアム付商品券事業を行いました。

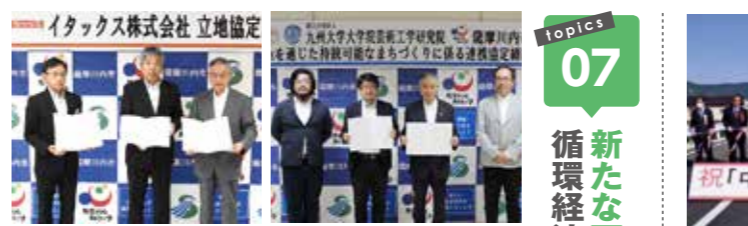


04 新型コロナウイルス 感染症対策 各分野での取り組み



7月3日、甌島で「50年に一度の記録的な大雨」が発生し、7月6日までの間、市内全域に渡って大雨に見舞われました。この大雨で百次川や勝目川が氾濫し、住宅や店舗などが浸水。市内各地では大きな被害が発生しました。また、本市消防局から1隊3人を熊本県へ派遣。県土砂風水害機動支援部隊の一員として、八代市で孤立者避難誘導活動を実施しました。9月に発生した台風10号は、今までに経験したことが無い記録的台風の予報が接近前から出され、市内避難所には早くから多くの方々が進避しました。各地で住宅損壊や停電などの被害があり、鹿島町では県道が崩落し配水管が折損し、鹿島地区の286世帯が断水に。長浜地区からの給水活動は通行止で不能となりましたが、甌大橋が開通したことで上甌島からの給水車派遣で迅速に給水することができました。橋を活用した非常時市民生活支援の第1号となりました。

05 記録的大雨7月豪雨災害 大型で非常に強い 台風10号が接近



入来工業団地に同団地2社目の企業の立地が決まり、8月に立地協定を締結しました(写真左)。また、現在、久見崎町で開発を進めている「川内港久見崎みらいゾーン」では、次世代の産業を担う新興企業や起業家を発掘する産業集積を目指し、10月に産業立地ビジョンを策定。9月には、九州大学大学院芸術工学研究院と連携協定を締結(写真右)。官学連携で研究および事業を行い、SDGsに基づいた先進的で持続可能な循環経済モデルの構築を行っていきます。将来に向けて新たな雇用を創出するため、今後も積極的な産業立地政策を推進します。

大小路地区引堤事業に合わせ、事業着手した都市計画道路「中郷五代線(延長1,100m)」が、約10年をかけて完成し、11月1日に開通しました。前日には交通安全祈願祭を実施し、安全祈願とテープカットで完成を祝いました。この河川拡幅に伴い、肥薩おれんじ鉄道橋梁の架け替え工事が97年ぶりに行われ、事前組み立ての75mトラス橋を移動して架け替える全国的にも珍しい工事も行われました。また、12月5日には、南九州西回り自動車道阿久根川内道路の早期開通を願い、水引小学校で、(仮称)湯田西方IC~薩摩川内水引ICの着工式が行われました。

06 道路インフラの整備進む 大小路地区引堤事業中郷五代線完成 南九州西回り自動車道阿久根川内道路着工式



© 2020「大綱引の恋」フィルムパートナーズ



© 2020「大綱引の恋」フィルムパートナーズ



© 2020「大綱引の恋」フィルムパートナーズ

オール鹿児島ロケである本作品のほとんどは本市での撮影です。私たちが普段目にする風景や、おなじみのお店などが映画の至る所に散りばめられています。



© 2020「大綱引の恋」フィルムパートナーズ



© 2020「大綱引の恋」フィルムパートナーズ



© 2020「大綱引の恋」フィルムパートナーズ



© 2020「大綱引の恋」フィルムパートナーズ

これは、覚悟を決めるための愛の物語

佐々部清監督、渾身のラブストーリー

# 大綱引の恋

二人の出会いから物語が始まる  
「出会いとは?」「結婚とは?」「家族とは?」「覚悟とは?」

この映画は、不器用ながら愛を育んでいく主人公の武志とジヒョンの切ない恋と本市で420年以上継承される川内大綱引に実際参加した人々のエピソードを、フィクションとしての家族の物語の中に大綱引の歴史を彩ってきた実話として織り込み、描かれています。

この映画の最大の見せ場となる大綱引のシーンでは、国道3号を封鎖し、エキストラ400〜500人で撮影。上方・下方を務めた三浦貴大さん、中村優一さん(福元弦太郎役)は撮影に入る前から太鼓をたく練習をし、本番では周りも認める雄姿を見せています。本番さながらの熱量で演じられている熱気あふれるシーンをぜひ、スクリーンで体感してみてください。



© 2020「大綱引の恋」フィルムパートナーズ

大綱引で敵対する兄・武志と恋人・弦太郎の応援で揺れ動く武志の妹・敦子



© 2020「大綱引の恋」フィルムパートナーズ

有馬武志(三浦貴大)は35歳にして奥手の独身。とび職の親方であり、大綱引の師匠でもある父・寛志(西田聖志郎)から常々「早う嫁をもらうて、しっかりとした跡継ぎになれ」とうるさく言われている。とある日、ふとした事件から韓国人女性研修医ジヒョン(知英)と出会い、次第に心を通わせるようになる。その頃有馬家では、母・文子(石野真子)が定年退職を宣言し女将も家事も放棄したため、妹・敦子(比嘉愛未)も含め家族の皆が四苦八苦する。一方、年に一度の一大行事「大綱引」が迫るなか、武志はジヒョンから「あと2週間で帰国するの」と告げられる。

大綱引を取り巻き、さまざまな愛の形が描かれる――

## 地域のひととともに

この映画の制作に当たり、2017年に支援団体「川内大綱引を継承する会」が設立され、構成員の川内大綱引保存会や川内商工会議所を筆頭に、多くの市民の方々が協力し、薩摩川内の土地柄や人の温かさが詰まった一つの作品を佐々部監督らとともに作り上げてきました。

今回は、その中の一人でこの映画のために尽力された方にもお話を伺いました。



国分寺町の下台自治会の皆さんが手作り料理で応援

川内大綱引を継承する会 副会長

堂園 喜明さん



映画「大綱引の恋」ロケ地誘致のきっかけは、市内であった西田聖志郎さんの講演会後の懇親会。大綱引の話題になり、西田さんにも見に来ていただきたいと、その年の川内大綱引に保存会が招待。そのあまりの迫力に西田さんが感動し、映画化の企画プロデュースが始まりました。川内大綱引の魅力は、綱に関わる人々の「団結力」。祭りの花形である一番太鼓は、自分一人ではなれる訳ではなく、家族・地域・職場の人々、大綱に関わる全ての人の応援があつて初めてなるもの。この映画には、その素晴らしさが込められています。

全国の方にこの映画をご覧いただき、薩摩川内の良さを知り、訪れる機会としていただきたいですね。

# 『つなこい』旋風吹き荒れる!

## 川内文化ホールに 映画「大綱引の恋」 キャスト登場!

### 先行上映会と舞台あいさつ

令和2年10月31日、川内文化ホールで映画「大綱引の恋」の先行上映会があり、第一部の上映終了後、出演した三浦貴大さん(主人公・有馬武志役)、比嘉愛未さん(主人公の妹・有馬敦子役)、中村優一さん(敦子の恋人・福元弦太郎役)、升毅さん(「綱ごころ」店主・中園喜明役)、西田聖志郎さん(武志の父親・有馬寛志役)の5人の舞台あいさつと記者会見が行われました。

舞台あいさつの中で、急逝された佐々部監督の印象や思い出を質問された比嘉さんは、「愛に満ち溢れた素晴らしい方。2作品参加して、大綱引の恋の撮影が終わった日にお酒を飲みましたが、『これで愛も佐々部組の一員だな』と喜んでくださった言葉が忘れられなくて。一生この言葉を胸に刻んでこれから役者人生を歩んでいこうと思えました」と涙を拭かれました。

また、比嘉さんとの初共演で恋人役を演じた感想を聞かれた中村さん

## 行ってみよう! 市内のロケ地スポット

この他多数登場!  
詳しくは本編でのお楽しみです



石走ラーメン  
鳥追町 7-8



綱ごころ  
西向田町 11-24



前の平展望所  
下甌町瀬々野浦



新田神社  
宮内町 1935-2



山café  
寺山レストラン  
天辰町 2453-30  
(寺山いこいの広場内)

観光物産ガイドところHPにてGoogleマップと連動したロケ地マップを公開中!  
ぜひ、ロケ地巡りにご利用ください!



▲薩摩川内観光物産ガイドところHP

は、「僕が一番太鼓が決まって、比嘉さんと喜んでハグするシーンがあるんですけど。そのシーンの時に、監督がほんとに比嘉さんが大好きなんだなあというエピソードがあつて。本番ギリギリまで比嘉さんの役を佐々部監督がやるんですよ。僕は、佐々部監督を抱き締めて「よかったね」と。比嘉さんはすぐ横で見てるんですよ。この光景はすごいなと。佐々部監督はほんとに比嘉さんが大好きなんだなあ」と話され、それを受けた三浦さんは「僕も知英さんと屋上でなんやかんやあるんですが、この二人の関係の時には、愛未ちゃんの所に佐々部監督が入っていたんですけれど、僕と知英ちゃんの時には、佐々部監督が『ちよつと貴大見えて』と、なんか知英さんと抱き合おうとするんですよ。そういうところはかわいいなあと」と監督とのエピソードを明かされました。

佐々部監督5作品目の出演となつた升さんは、今回演じるに当たって心掛けたことについて、「佐々部

監督の作品って日常の一コマを切り取つたような作品が多いんですね。いかにそこにその人が存在しているかって事を大事にされる方だったので、ちよつとオーバーなお芝居だったり、取って付けたようなお芝居をすごく嫌う。今回も特に『綱ごころ』のあそこの席にずっと座ってる人になろうと考えると考えながら演じてました」と話されました。

プロデューサーで出演者でもある西田さんは、「映画は完成した後でも、観客の皆さまによって育て上げられると言われております。ぜひ、この『大綱引の恋』を市民の皆さんの宝物としてこれからも見守って大事に育てていっていただきたいと思えます」と映画への思いを述べられました。

そして、最後に主演の三浦さんは、「やっと一年掛かってようやく川内に帰ってきて皆さんに見てもらえて本当に嬉しい気持ちです。この映画で少しでも皆さんの中にあったかいいものを感じてもらえたりしたらうれしいと思います」と結ばれました。

川内に帰ってきて皆さんに見てもらえて本当にうれしい。

大好きで尊敬する監督から直々の出演オファー。即決でした。

夜、ホテルにばちだけ持って帰って枕たたく練習していました。

佐々部組の組頭として、いかに片棒を担ぐかを考え、演じました。

子どもたちに「いつかは一番太鼓をたたくぞ」と思っていたんだ。

**記者会見**

川内大綱引をテーマにした映画を作成されたきっかけは。西田「六月灯の三姉妹」が上映された時に、とある懇親会で川内の大綱引も映画にできないかと話があった。僕はまだ見たことがなかったから即答はできなかったんだけど、その年の秋に見てしまったら打たれたというか、難しいという気持ちもあつただけ、どうにか形にしていこうという思いを佐々木監督に伝えたら、監督も即答で引き受けてくれて、そこから動き始めました。



監督の(遺作ではなく)最新作とお話をさせていただきました。

最終的にお別れがちゃんとできていないのも、もちろんあるんですけど、僕はまだ監督が亡くなったことを受け入れられていないので。だからそういう意味では僕は「遺作」とは言いたくなくて、「最新作」と位置付けさせていただきました。

今年は大綱引が中止となってしまいました。その年に上映となったことについて。

三浦 大綱引は開催されませんでした。映像として残っていることが、来年に向けてのモチベーションを保つ一つの助けになってくれたらなあと思います。



先ほどの舞台あいさつでの涙を拭かれる場面はどんな思いで。比嘉 今日と言う日は、晴れ晴れとした心で皆さんに届けたくて、泣くまいかって決めていたんですけど、舞台上から見た客席の皆さんの姿と声援に、こんなにも待ち望んでくれてた



んだなって。言葉はなくても「おかえり」というのが伝わってきたんですよ。なので話しているうちに込み上げてきて、思いが止められなくて泣いてしまったんですけど、悲しい涙じゃなくて温かい涙でした。

薩摩川内市で召し上がった一番印象に残ったものは。

中村 ほぼ毎日行っていたので「綱ごころ」さんのおでんと定番メニューにはない僕らのために作ってくださいました。カレー。大好きになりました。

舞台あいさつで「川内から全国に伝える」との発言に皆さんうれしと感じていて客席からも大声援がありました。どう思われましたか。

三浦 地元の方が大切にしている「大綱引」というものを映画にさせてもらって、その土地で撮った映画っていうのは、その土地の人に愛されたいといけないうちで、そういう風に言っていたのはうれしかったです。

**子どもたちも大活躍**  
オーディションを経て、映画に実際に出演した本市出身の小学生5人にも感想を聞いてみました。



幼少期 有馬 武志 後 郷 学 務 教 育 学 校 4 年 後 藤 煌 君

お父さんからオーディションがあると聞いて、受けてみたいなあと思っていました。受かった瞬間、学校のみんなに教えたかったです。かつよく演技しようと思っていて、監督にうまく教えてもらいました。三浦貴大さんとのあいさつ、握手も思い出です。自分の出演シーンは疲れて寝て、残念ながら見れなかったけど、映画には薩摩川内市がたくさん出てきてうれしかったです。特に、以前行った甕島のシー



幼少期 有馬 武志 柴 田 瑠 奈 君

は、お母さんから聞いて挑戦してみたいと思いました。受かったと聞いたときはとてもびっくりして驚きました。台風の中の撮影で、ずっと目を開けるのが大変でしたが、とても楽しく貴重な経験になりました。監督から他の作品の話も聞いたり、比嘉さんと写真を撮ったりサインをもらったりして、実際にできると感動しました。



幼少期 中国 典 子 中 野 美 月 君

自分が住んでいるまちが舞台の映画があると聞いてチャレンジしたいと思ってオーディションでしたが、せりふを間違ってしまったので、合格と聞いたときはびっくりしたし、とてもうれしかったです。大綱引のことはあまり知らなかったけど、映画を通じて知ることができたし、知っている場所がスクリーンに出るたびうれしかったです。自分の撮影のない日に行ったら監督と一緒に写真を撮ってくれたことが思い出です。



幼少期 吉 留 鼓 太 郎 君

受かった時には「よっしゃ」と思いました。演技するのは、難しかったです。緊張したけど楽しかったです。監督とは、撮影の合間に綱ごころで、みんなでラグビーを応援したことが思い出です。優しくとてもいい人だったので亡くなって寂しいけど、佐々木監督のタオをもらってとてもうれしかったです。映画は笑いや涙のシーンもあってとても素晴らしい映画なのでたくさんの人に見てもらいたいと思います。



友人の子も役 原 愛 葵 君

お父さんが大綱引で大将をしたことがあったので、この映画のオーディションを受けたいなと思いました。撮影の時は、初めて緊張しましたが、実際の撮影現場は夢みたいだなと思いました。自分の頑張りが映画の中で見れたのでとてもうれしかったです。

**思いの込もった映画を皆さんの心に残る映画に**

堀之内 寛郎 (Horiuchi Hirohiko)



大綱引をテーマにした映画の撮影が決まって市職員の協力もほしいというお願いがあり、これは市として観光客の増加やプロモーションのチャンスになると考え、関わらせていただきました。地域の皆さんやスタッフの方々はもちろん、観光・シティセールス課のみんなで協力してまさにワンチームでこの映画を作り上げたということがとてもうれしかったです。

さまざまな人の思いが込められた映画です。佐々木監督の遺作ではなく最新作として、佐々木ファンにはもちろんですが、市民の多くの方

**本市出身の俳優 小山 悠さん 独占インタビュー**



おやま ゆう 小山 悠 モデル/俳優 1993年11月生まれ 薩摩川内市出身 映画「あんた、誰だよ」主演 朝ドラ「エール」大河ドラマ「いだてん」、他

この映画のキャストに選ばれたきっかけは。

小山 佐々木監督の「陽はまた昇る」を見て、その温かい世界に心酔して、必ずこの監督の映画に出たいということがスタートでした。その後、監督が講師を務めるワークショップに参加させてもらった後に、薩摩川内市を舞台に映画を撮影するという情報を聞いて直接連絡を取らせていただきました。川内大綱引保存会の方や、「綱ごころ」の皆さまから監督に僕のお話をしていたこと、プロデューサーの西田さんと父に共通の知り合いがいたということもあり出演させてもらう運びとなりました。

二重、三重のご縁がきっかけで参加させていただいた作品でした。

出演が決まった時の気持ちと実際に出演された感想は。

小山 尊敬する監督の作品と

実際に映画を見て皆さんが知っている風景が、プロの人たちからこういう風に見えるんだ、物語になったらこんな風になるのかなど、違う視点から見て感じてもらえたら。そして、それをいろんな人に口コミで広めて映画を知ってもらえたら。自分の住んでいる町が映画になることは、そうそうないと思います。なので、市の皆さんにはこの映画を自慢できる素材として育ててもらえたらと思います。



小山さんは、「劇場版仮面ライダーゼロワン REAL TIME」にも出演している、今、大注目の若手俳優です。これからは彼の活躍に目が離せません！

**追記**

堀之内G員は、撮影期間中、市のフィルムコミッション事業担当としてほぼ付きっきりで撮影スタッフと共に映画に携わり、撮影許可や関係者への連絡に汗を流し、監督から全幅の信頼を寄せられていました。映画に登場する金井勇太さん、演じる、観光・シティセールス課職員、竹之内俊郎の名に彼の存在を垣間見ることができ

**つなごい INFORMATION**

**1 特別上映会&舞台あいさつ決定!**

松本若菜さん、升毅さん、朝加真由美さん、小山悠さん、西田聖志郎さんが登壇予定!!

時/ 1/17(日) ▶第1部=11:00~▶第2部=14:00~

所/ SSプラザせんだい 料金/ 1,000円

前売券販売所/薩摩川内市観光物産協会本店、川内文化ホール ※販売所によっては、売り切れの場合がございます。

問合先/株式会社パディハウス ☎03(3385)2256

**2 1月30日(土)から1週間、ガーデンズシネマ(鹿児島市マルヤガーデンズ7階)でも上映決定!**

**3 5月からは全国公開がスタート!**